

県庁で  
歓迎式典

# 農業実習「宮崎クラス」 ベトナムから1期生13人

人手不足が進む農業の担  
い手確保を目指し、県とベ  
トナム国立農業大（ハノ  
イ）の連携合意で設置され  
たコース「宮崎クラス」の  
技能実習生の歓迎セレモニ



歓迎セレモニーに臨むベトナムからの技能実習生と、  
受け入れ農業法人の関係者ら＝25日午前、県庁

ーは25日、県庁であった。  
18～31歳の男女13人が1期  
生として、施設園芸や養豚  
業などの技術習得に励む。  
県と同大学は2022  
年、「人材の確保・育成に  
係る連携合意」を締結。同

大学に本県での農業実習な  
どを見据えた「宮崎クラ  
ス」を設置。1期生はベト  
ナムで半年間、日本語を学

みやざき  
ニュースBOX

んだ後、2月下旬から順次  
来県。既に県内四つの農業  
法人で実習している。

式典には実習生のほか、  
受け入れ法人や行政関係者  
ら約40人が出席。河野知事  
は「全国トップクラスの農  
業県でしっかり研修をし  
て、いろいろなことを学ん  
でほしい」とあいさつし  
た。実習生を代表してレ・  
トアン・アンさん(23)が  
「日本で仕事をする機会  
と、環境を整えてもらい感  
謝したい。仕事も勉強もし  
っかり行うことを約束す  
る」と誓いを述べた。

サツマイモやゴボウなど  
を生産するベジエイト(都  
城市)は9人を受け入れて  
おり、重富保社長(70)は  
「単に人手不足だからでは  
なく共生することが大切。  
生産から販売、マネジメン  
トまで学んでもらうプログ  
ラムを作っていきたい」と

話していた  
県は24年  
農業法人な